

子どもの歌と音階の関わり

6月の歌を中心として

林 智草

1. はじめに

幼稚園教育要領において、音楽は「表現」の領域に属し、その活動を通して豊かな感性や表現力を養うことを目標としている。そのために、幼稚園では子どもたちの音楽への興味や関心を引き出そうと、童謡を歌う、楽器を演奏する、音楽を聞くといった様々な音楽活動を行っている。そして、「幼児期において、音楽にかかわる活動を十分に経験することが将来の音楽を楽しむ生活につながっていく」と幼稚園教育要領にも記されているように、音楽との関わりは一時的なものではなく、生涯にわたって音楽に親しむ姿勢を養うことを目指している。それは、幼稚園教育のみならず中学校、高等学校での音楽科の学習指導要領においても生涯を通して音楽を愛好する態度を育むことを目標としており、すなわち、学校教育での音楽が目指すところは「音楽に親しむ恒久的な姿勢を培うことである」と言える。

家庭での音楽環境の在り方にもよるが、多くの子どもたちにとって音楽との関わりは、おおよそ3歳頃から始まる。幼稚園や保育園で先生や友だちと一緒に歌を歌う、音楽教室で学ぶなど、それまでの受動的な活動から能動的な活動へと変化していく時期である。それゆえ、幼少期の音楽体験は、その後の音楽との関わりを大きく左右する重要な役割を担っている。そして、保育者養成校では子どもたちに音楽の楽しさを伝えられるような保育者を育成するべく、音楽の基礎的な知識や実践的な力を身につけるための科目が開講されている。その中で、童謡の弾き歌いは教育実習、さらには就職後にも求められる重要なスキルである。そのため、養成校での音楽実技に関する科目は童謡の弾き歌いを主軸として指導が行われている。

保育者養成校である本学も、「器楽Ⅰ」、「器楽Ⅱ」という科目名でピアノレッスンを主体とする授業を開講している。このうち、2年生を対象とした通年科目「器楽Ⅱ」において、約100曲の子どもの歌（以下、年間課題曲）の中から20曲以上の習得を目指し、授業を展開している（表1を参照）。この年間課題曲は、『簡易伴奏による こどもの歌ベストテン』（ドレミ楽譜出版社）に収められている65曲をベースとしている¹。そして、それに加えて保育現場でよく歌われている曲、また時代の流行なども考慮し、選定されている。しかし、年間課題曲の中には現在、幼稚園ではほとんど歌われていないと思われる曲も含まれている。この課題曲一覧が作成

¹ この曲集には85曲が掲載されているが、流行歌や現在あまり歌われていない童謡など20曲は年間課題曲から除外している。

された時期については不明であるが、おそらく近年の実態との照らし合わせは行っていないものと考えられる。

そこで、本稿では教育実習を行った学生からの聞き取り調査を通して、現在幼稚園で歌われている童謡の実態について調査を行う。そして、その結果を基に年間課題曲と照らし合わせ、今後の授業計画や展開について検討したい。

また、幼稚園でどのような曲を歌うかについては、各園の判断に任されており、小学校以降のように共通教材と呼ばれるものは存在しない。日本における音楽教育は、1879年に我が国初の音楽研究機関である音楽取調掛が設置されたことによって開始された。そして約140年が経過した現在、日本には多種多様な音楽が流布している。そのため、幼稚園で歌われる曲も時代の流行を取り入れて選曲されているのではないかと推測する。そこで、楽曲に使用されている音階に着目して分析を行い、それら楽曲ジャンルの大別を試みる。

なお、本稿の目的である子どもの歌の実態を解明するためには、1曲でも多くの作品を調査対象とした方が良いだろう。しかし、本学で定めている年間課題曲に限っても100曲に上り、本稿のみで全てを分析することは困難である。そこで、5、6月に教育実習を終えた学生に対し、実習中に弾き歌いを行った曲について調査を行った。

そのため、本稿では5、6月に歌われる作品に对象を絞り、分析および考察を行う。

2. 6月期における子どもの歌

2. 1. 調査の目的

幼稚園において6月期（初夏）に歌われている童謡について、その実態を把握することを目的として、調査を実施した。

2. 2. 対象

2014年5月および6月に3週間の幼稚園教育実習（本実習）を行った111名の学生を対象とした。なお、6月末から7月に実習を行った者については本調査から除外した。

2. 3. 内容

実習前の幼稚園でのオリエンテーションにおいて、園から実習中に歌う曲（童謡）の指定があったか否かを問い合わせ、指定があった場合はその詳細を記入させた。

また、事前に指定された曲以外に実習中に演奏（弾き歌い）した曲がある場合は、それも併せて記入させた（付録1を参照）。

表1 年間指導課題曲一覧

4月	1	せんせいとおともだち
	2	あくしゅでこんにちは
	3	山のワルツ
	4	めだかのがっこう
	5	やぎさんゆうびん
	6	おはながわらった
	7	森のくまさん
	8	はたけのポルカ
	9	チュー・リップ
	10	ちようちよう
5月	11	手をたたきましょう
	12	こいのぼり
	13	そうだつたらいいのにな
	14	こぶたぬきつねこ
	15	ことりのうた
	16	おかあさん
	17	ゆりかごのうた
6月	18	すうじの歌
	19	とけいのうた
	20	はをみがきましょう
	21	かたつむり
	22	あめふりくまのこ
	23	アイスクリームのうた
	24	すてきなパパ
	25	大きな古時計
	26	ニヤニユニヨの天気予報
	27	あまだれぽったん
7・8月	28	みずあそび
	29	たなばたさま
	30	うみ
	31	南の島のハメハメハ大王
	32	アイアイ
	33	シャボンだま
	34	とんでつたバナナ
	35	おつかいあります
	36	ありますのおはなし
	37	ぞうさん
9月	38	おばけなんてないさ
	39	きらきら星
	40	虫のこえ
	41	山の音楽家
	42	夕焼け小焼け
	43	ふしぎなポケット
	44	とんぼのめがね
	45	ドコノコキノコ
	46	大きな栗の木の下で
	47	七つの子
10月	48	宇宙船のうた
	49	ちいさい秋みつけた
	50	まつかな秋

10月	51	おなかのへるうた
	52	大きなたいこ
11月	53	おんまはみんな
	54	こおろぎ
	55	どんぐりころころ
	56	まつばづくり
	57	バスごっこ
	58	線路は続くよどこまでも
	59	いぬのおまわりさん
	60	たきび
	61	やきいもグーチーパー
	62	小ぎね
12月	63	北風小僧の寒太郎
	64	ジングルベル
	65	あわてんぼうのサンタクロース
	66	きよしこのよる
	67	お正月
	68	おもちゃのチャチャチャ
1月	69	コンコンクシャンのうた
	70	ゆき
	71	雪のペンキやさん
	72	雪の小ぼうず
	73	まめまき
2・3月	74	赤鬼と青鬼のタンゴ
	75	手のひらを太陽に
	76	うれしいひなまつり
	77	いちねんせいになつたら
	78	おもいでのアルバム
	79	カレンダーマーチ
	80	ありがとう・さようなら
	81	さよならぼくたちのようちえん
	82	春がきたんだ
	83	おはようのうた
生活のうた	84	おはよう
	85	おべんとう
	86	よいこのあいさつ
	87	おかたづけ
	88	おかえりのうた
	89	さよならのうた
	90	おててをあらいましよう
	91	おやつ
	92	となりのトトロ
	93	夢をかなえてドラえもん
楽しいうた	94	アンパンマンのマーチ
	95	小さな世界
	96	ビビディ・バビディ・ブー
	97	ミッキー・マウス・マーチ
	98	はらぺこあおむし
	99	にんげんていいな
	100	ぼくのミックスジュース

4. 実施時期

2014年6月、教育実習終了後に行った。

2. 5. 調査の結果

調査を実施したところ、5、6月期に実習を行った学生111名中、108名から回答が得られた。回答率は97.3%であった。まず、教育実習先を表2に示す。なお、複数の実習生がいる園については「1園」としてカウントした。

表2 地域別実習園数

地域名	実習先(園)	地域名	実習先(園)
群馬県	46	秋田県	2
栃木県	19	福島県	2
埼玉県	10	長野県	2
新潟県	6	宮城県	1
茨城県	3	福井県	1

本学は群馬県南東部に位置し、栃木県、茨城県、埼玉県との県境にも近いため、学生もその周辺から通学している。学生の多くはそれぞれの出身地で教育実習を行っているため、実習先地域も群馬を筆頭とし、栃木、埼玉と続く。

そして、教育実習中の童謡の弾き歌いを行ったか否かについて、表3に調査結果をまとめた。教育実習前に実習園でのオリエンテーションにおいて、実習までに童謡を練習しておくように言われ、曲を指定された学生は77名おり、回答者の71.2%であった。一方、オリエンテーションではそのような指示を受けなかつたが、実習中に童謡の弾き歌いを行った者は27名であった。そして、実習中に弾き歌いを一切行っていない学生は全体の3.7%、4人のみであった。つまり、全体の96%の学生が実習中に童謡の弾き歌いを行っている。教育実習生が本実習で取り組む活動のうち、ピアノの弾き歌いは多くの園で求められるものであり、重要な位置を占めていると言える。また幼稚園教育要領において、音楽は「表現」の領域に位置し、生活の中で音楽に親しむ態度を育てることをねらいとしているが、実習生の多くが教育実習中にピアノの弾き歌いに取り組んでいることからも、幼稚園教育に占める音楽の役割やその重要性を窺い知ることが出来る。

表 3 教育実習での弾き歌いの有無

質問	回答	人数	割合
オリエンテーションで曲の指定があった	はい	77 人	71.3%
	いいえ	31 人	28.7%
実習中に弾き歌いを行った	はい	104 人 ²	96.3%
	いいえ	4 人	3.7%

さらに、教育実習中に弾き歌いを行った曲を回答者の多い順から並べ、表 4 にまとめた。同一の園に複数の実習生がいる場合もあるが、配属クラスや年齢によって歌っている童謡が異なることもあるため、そのような状況は考慮せずにカウントした。なお、調査結果を集計したところ曲目は総勢 97 曲に上ったが、紙面の都合上、同一の曲目を 2 名以上が回答したもののみに絞り、50 曲のタイトルを一覧に掲げた。また、実習先の「園歌」を弾き歌いしたとの回答もあったが、幼稚園独自の歌は除外した。

2. 6. 考察

本学の教育実習は、例年 6 月の第 1 週から第 3 週に行われている。そのため、『かたつむり』や『あめふりくまのこ』といったように梅雨の時期にふさわしい曲が多く歌われている。また、6 月 4 日は「虫歯予防デー」、6 月 10 日は「時の記念日」、そして 6 月第 3 日曜日は「父の日」であり、表からもそれら記念日に合わせた曲が歌われていることが見て取れる。

表中の網掛け文字は、本学の 2 年次科目「器楽 II」の年間課題曲に含まれている曲目であることを意味する。表 4 に掲げた 50 曲のうち、年間課題曲の約 7 割を占めている。また、6 月の歌に限った場合、本学の年間課題曲と幼稚園で実際に歌われている童謡はおおよそ一致していると言える。

しかし、『かえるのがっしょう』は約 3 割の学生が実習中に弾き歌いを行っているが、本学の年間課題曲には含まれていない。この曲は約 4 割の実習園で歌われており、6 月の定番曲であることがわかる。今後は課題曲に含めることが望ましいと考えられる。

² 104 人のうち、「オリエンテーションで曲の指定があった」との質問に対して「はい」と答えた 77 人を含む。

表4 実習中に弾き歌いを行った曲目

曲目	季節	回答数	曲目	季節	回答数
かたつむり	6月	50	森のくまさん	4月	4
あめふりくまのこ	6月	41	宇宙船のうた	10月	3
おべんとう	生活	35	ことりのうた	5月	3
かえるのがっしょう	—	34	ドレミのうた	—	3
時計のうた	6月	33	虹の向こうに	—	3
おかえりのうた	生活	32	はたけのポルカ	4月	3
はをみがきましよう	6月	25	ミッキー・マウスマーチ	その他	3
すてきなパパ	6月	21	むすんでひらいで	—	3
おはよう	生活	15	ゆりかごのうた	5月	3
さよならのうた	生活	15	アイスクリームのうた	6月	2
大きな古時計	6月	14	ありさんのおはなし	7・8月	2
おはようのうた	生活	14	いつでもなかよく	—	2
あまだれぽったん	6月	12	歌えバンバン	—	2
きらきら星		12	お父さん	—	2
あなたのお名前は	—	9	子犬のマーチ	—	2
ちょうちょう	4月	7	小鳥の結婚式	—	2
しゃぼん玉	7・8月	6	そうだったらいいのにな	5月	2
おたまじやくし	—	5	たなばたさま	7月	2
おむねをはりましよう	—	5	チューリップ	4月	2
さんぽ	—	5	名前っていいな	—	2
手をたたきましよう	5月	5	ねむれ	—	2
ニヤニユニョの天気予報	6月	5	ぼくのミックスジュース	その他	2
アンパンマンのマーチ	その他	4	虫歯建設株式会社	—	2
くじらのとけい	—	4	勇気 100%	—	2
めだかの学校	4月	4	よいこのあいさつ	生活	2

同様に、『あなたのお名前は』も『かえるのがっしょう』ほどではないが、約1割の園で歌われている。調査結果の中に、群馬県前橋市内で実習を行った学生から、『あなたのお名前は』は『おはよう』などの生活の歌と同じく、毎日の生活の流れの中に出でてきたとの回答があった。この曲が歌われる場面の具体的な内容についてはこの回答のみであり、他の8名がどのような時にこの曲を歌ったのか詳細についての調査は出来なかった。しかし、中村、白石らは、新年度のクラス替えの頃に「先生が歌いながら子どもの名前を呼び頬や頭をなでてスキンシップをする」ため

の歌であり、手遊び歌の一つとしている³。また、村田も4歳児の1学期に取り組む活動として『あなたのおなまえは』を挙げていることから⁴、この曲の役割は中村、白石らと同様であると考えられる。学生からの回答にあったような「生活の歌」としての用いられ方は稀である可能性もある。しかし、いずれにせよ保育者と子どもたち、もしくは子どもたち同士のコミュニケーションを図るための曲であると言える。保育者の呼び掛けに対して返事をすることは、「表現」のみならず「言葉」の領域にも関わってくる活動であり、この曲のもつ役割を考慮して年間課題曲に含めることを検討したい。

一方、『ちようちよう』は年間課題曲では4月の歌と指定しており、多くの童謡集でも春の歌とされている。しかし、『ちようちよう』のメロディのみを残し、歌詞を「おきよ」と替えて歌われているとの回答がいくつも存在した。学生への聞き取り調査によると、子どもたちに活動の区切りや転換を知らせるための、一種の生活の歌として歌われていることが明らかとなった。現在、この曲の歌詞は1番のみであるが、1881年に音楽取調掛によって編纂された『小学唱歌集 初編』には、2番の歌詞も掲載されており、そこに「おきよ おきよ ねぐらの すずめー」という歌詞がある⁵。替え歌の「おきよ」と歌詞が部分的に一致しているため、元の歌詞の流れを汲んでいるようにも思えるが、偶然なのか否か定かではない。今回調査を行った中で、このような替え歌の例は『ちようちよう』のみであったが、よく知られた童謡の歌詞を替えて歌うことは、慣習として行われているように思われる。既に述べたように、『ちようちよう』は春先に歌われる曲であるが、幼稚園では季節の歌として以外の歌われ方（用いられ方）がなされている。実習に向け、とかく実習時期にあった「季節の歌」、それに加えて朝、お昼、帰りに歌われる「生活の歌」の2点に絞って準備を行

³中村浩美・白石景一 2013 「保育者養成校における音楽指導法の研究 第7報」

『長崎女子短期大学紀要』 第37号 長崎女子短期大学 p. 95

⁴村田健治 2011 「幼児期から小学校への接続期におけるカリキュラムの具体」

『奈良県立教育研究所個人指定研究』 第19号 奈良県教育委員会

⁵音楽取調掛(編) 1884 『小学唱歌 初編』 文部省 p. 17

国立国会図書館 近代デジタルライブラリー

<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/992051/20>

いがちであるが、日頃から季節を問わず、幅広く童謡を習得するよう努めることが求められると言える。本学では「器楽Ⅰ」においてピアノ演奏に関する基礎を学び、「器楽Ⅱ」において童謡の弾き歌いのレパートリーを増やしていくが、本実習は2年次の6月に行われるため、1年次の「器楽Ⅰ」の中で1曲でも多くの童謡を習得させることが大切であると考える。

3. 音階に関する分析

3. 1. 分析方法

音階に関する研究として、木暮が小学校歌唱共通教材を対象とした分析を行っている。これは、柴田南雄の骸骨論と呼ばれる音階分析法に基づいている。本稿ではその判定方法に基づき分析を行う。その観点は、楽曲の使用音、使用頻度、総音価の3点である。総音価は4分音符を1として算出する。そして、使用頻度、総音価の値を基に、有力性の高い使用音から順に並べ、その結果からどの音階に基づいて作曲されているのかを判別していく。

なお、使用音は前奏や後奏を除き、1番のみ（歌詞のある部分のみ）をカウントする。また、リピート記号によって繰り返された後に結尾部へ移行するものは、1番と結尾部を合わせてカウントする。

3. 2. 調査対象

前章で行った調査から、6月に歌われている曲の実態が明らかとなった。ここでは、そのうち4名以上が実習中に弾き歌いを行ったと回答した曲、計26曲を対象とする。

3. 3. 分析結果

(1)かたつむり／文部省唱歌 D dur 4分の2拍子

使用音	レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ	レ
頻度数	6	7	10	1	11	1	2
総音価	3.5	3.75	6	0.25	5.5	0.5	1
優先順	4	3	1	7	2	6	5

ヨナ抜き長音階

第4音の「ソ」が使用されているものの経過音であり、また1回のみであるため、効力は低い。

(2)あめふりくまのこ／鶴見正夫(作詞)・湯山昭(作曲) D dur 4分の2拍

子

使用音	シ	#ド	レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ	レ
頻度数	4	2	2	8	6	1	6	8	2
総音価	2	1	2.75	3.75	3.5	0.75	4.25	4	1
優先順	6	7	5	3	3	8	1	2	7

ヨナ抜き長音階

ソは和声音であるが、優先順位を見ても効力は低い。

(3)おべんとう／天野蝶(作詞)・一宮道子(作曲) C dur 4分の2拍子

使用音	ド	レ	ミ	ソ	ラ	ド
頻度数	4	4	9	14	5	2
総音価	3.5	3.5	5.5	7.75	3	0.75
優先順	3	3	2	1	5	6

ヨナ抜き長音階

(4)かえるのがっしょう／ドイツ民謡 F dur 4分の4拍子⁶

使用音	ファ	ソ	ラ	♭シ	ド	レ
頻度数	9	5	7	5	2	1
総音価	4.5	2	3.5	2	1	0.5
優先順	1	3	2	3	4	5

長音階

(5)時計のうた／筒井敬介(作詞)・村上太郎(作曲) D dur 4分の4拍子

使用音	レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ	レ
頻度数	4	12	15	3	10	7	4
総音価	3.5	9.5	12.5	2.5	5.5	4.5	2
優先順	5	2	1	6	3	4	7

ヨナ抜き長音階

ソは経過音として2回、逸音として1回現れ、いずれも非和声音である。

(6)おかえりのうた／天野蝶(作詞)・一宮道子(作曲) C dur 4分の4拍子

使用音	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	ド
頻度数	4	6	6	1	12	9	3
総音価	6.25	3	4.5	0.25	7.75	4.75	2
優先順	2	5	4	7	1	3	6

ヨナ抜き長音階

1回のみ現れるファは経過音であるため、重要性は低い。

(7)はをみがきましよう／則武昭彦(作詞・作曲) C dur 4分の2拍子

使用音	ド	レ	ミ	ソ	ラ	ド	レ
頻度数	3	4	11	7	5	2	1
総音価	2	2.25	6.25	5.25	3	1.5	0.25
優先順	5	4	1	2	3	6	7

⁶ 4分の2拍子で書かれている楽譜も存在する。

ヨナ抜き長音階

(8) すてきなパパ／前田恵子(作詞・作曲) C dur 4分の2拍子

使用音	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド
頻度数	3	6	14	14	9	8	6	2	2
総音価	1.5	3.5	7.25	6.75	4.25	4.5	2.75	1	2
優先順	8	5	1	2	4	3	6	9	7

長音階

(9) おはよう／増子とし(作詞)・本多鉄磨(作曲) C dur 4分の2拍子

使用音	ド	レ	ミ	ソ	ラ	シ	ド
頻度数	4	3	6	13	4	1	5
総音価	1.75	1.5	3	4.75	1.75	0.25	4
優先順	4	6	3	1	4	7	2

ヨナ抜き長音階

シは経過音としての扱いであり、効力は低い。

(10) さよならのうた／高すすむ(作詞)・渡辺茂(作曲) C dur 4分の4拍子

使用音	ド	レ	ミ	ファ	#ファ	ソ	ラ	シ	ド
頻度数	4	9	8	7	1	12	9	3	5
総音価	6.5	10.25	8.75	4.75	0.25	14.25	6.5	2.75	6
優先順	4	2	3	7	9	1	4	8	6

ヨナ抜き長音階

ファは経過音として3回、残りは和声音である。1回のみ現れる#ファは刺繡音として、シの1回は経過音として、2回は和声音として使用されている。

(11) 大きな古時計／保富庚午(作詞)・ワーク(作曲) G dur 4分の4拍子

使用音	シ	レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ	ド	レ
頻度数	4	21	9	11	31	18	15	4	2
総音価	2	12	7	9.5	31	12.5	8	2	2
優先順	7	3	6	4	1	2	5	7	7

長音階

(12) おはようのうた／田中忠正(作詞)・河村光陽(作曲) C dur 4分の2拍子

使用音	ド	レ	ミ	ソ	ラ	ド	レ
頻度数	3	4	11	15	6	3	1
総音価	2	2	6.75	6.5	3.75	2.25	0.75
優先順	5	5	1	2	3	4	7

ヨナ抜き長音階

(13) あまだれぼったん／一宮道子(作詞・作曲) C dur 4 分の 2 拍子

使用音	ド	レ	ミ	ソ	ラ	ド
頻度数	9	5	5	6	4	2
総音価	7	3.5	4.5	3	2	1
優先順	1	3	2	4	5	6

ヨナ抜き長音階

(14) きらきら星／フランス民謡 F dur 4 分の 2 拍子

使用音	レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ
頻度数	6	6	8	8	10	4
総音価	10	10	16	16	18	8
優先順	4	4	2	2	1	6

長音階

(15) あなたのお名前は／インドネシア民謡 F dur 4 分の 4 拍子

使用音	ミ	ファ	ソ	ラ	♭シ	ド
頻度数	2	6	11	11	6	2
総音価	1	6.5	8	8	4.5	1
優先順	5	3	1	1	4	5

長音階

第 6 音である「レ」が一切使用されていないが、全音階において重要な主音、属音、下属音、導音が用いられていることから長音階と見なす。

(16) しゃばん玉／野口雨情(作詞)・中山晋平(作曲) C dur 4 分の 2 拍子

使用音	ラ	レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ	レ
頻度数	1	8	6	6	1	9	6	6
総音価	0.5	3.75	2.75	3	0.5	4.5	3	3
優先順	7	2	6	3	7	1	3	3

ヨナ抜き長音階

ソは和声音であるが、頻度数、総音価から判断するに重要性の低い音と言える。

(17) ちょうちょう／スペイン民謡 F dur 4 分の 2 拍子

使用音	ファ	ソ	ラ	♭シ	ド
頻度数	3	12	24	6	11
総音価	1.5	6.5	14	3.5	6.5
優先順	5	2	1	4	2

長音階

(18) おたまじやくし／望月クニ(作詞)・田中銀之助(作曲) D dur 4 分の 2 拍子

使用音	レ	ミ	#ファ	ラ	シ	#ド	レ
頻度数	7	10	8	13	7	1	1
総音価	4	5.5	3.5	8.25	4	0.25	0.5
優先順	3	2	5	1	3	7	6

ヨナ抜き長音階

(19) おむねをはりましょう／不詳(作詞・作曲) D dur 4分の2拍子

使用音	レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ
頻度数	11	11	10	5	13	1
総音価	8	6	6.25	2.5	5.75	0.5
優先順	1	3	2	5	4	6

ヨナ抜き長音階

長音階とも考えられるが、レ、ミ、#ファ、ラが優位に立っているため、
ヨナ抜き長音階と考える。

(20) さんぽ／中川李枝子(作詞)・久石譲(作曲) C dur 4分の4拍子

使用音	ド	レ	ミ	ファ	ソ	♭ラ	ラ	シ	ド	レ
頻度数	4	2	5	3	15	4	13	10	10	1
総音価	4	1.75	6.75	3	19.25	4	9.25	10.25	11	1
優先順	6	9	5	8	1	6	4	3	2	10

長音階

(21) 手をたたきましょう／外国曲 C dur 4分の4拍子

使用音	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	ド
頻度数	3	5	23	7	15	9	3
総音価	3	3	20	5.5	11.5	8	3
優先順	5	5	1	4	2	3	5

長音階

(22) ニヤニュニヨの天気予報／小里恵子(作詞)・宇野誠一郎(作曲)

F dur 4分の4拍子

使用音	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	♭シ	ド
頻度数	3	2	2	8	25	13	2	3
総音価	2	0.5	1	5.75	14	8	1.75	9
優先順	5	8	7	4	1	3	6	2

長音階

(23) アンパンマンのマーチ／やなせたかし(作詞)・三木たかし(作曲)

G dur 2分の2拍子

使用音	ソ	ラ	シ	ド	レ	#レ	ミ	#ファ	ソ	ラ	シ
頻度数	5	15	15	8	18	6	29	13	20	13	17
総音価	5	12	10.5	5	19.5	3	21.5	10.5	26	16	14
優先順	8	6	7	9	3	11	2	7	1	4	5

長音階

(24) くじらのとけい／関和男(作詞)・渋谷毅(作曲) G dur 4分の4拍子

使用音	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド	レ
頻度数	3	5	8	1	36	13	2	10	1
総音価	1.5	3.75	5.75	0.75	20.25	7.75	1.25	5.5	0.75
優先順	6	5	3	8	1	2	7	4	8

長音階

(25) めだかの学校／茶木滋(作詞)・中田喜直(作曲) D dur 4分の4拍

子

使用音	レ	ミ	#ファ	ラ	シ	レ
頻度数	8	8	8	7	14	2
総音価	6	7	9.5	6.5	9	1
優先順	5	3	1	4	2	6

ヨナ抜き長音階

(26) 森のくまさん／馬場祥弘(作詞)・アメリカ民謡 C dur 4分の2拍

子

使用音	ド	レ	#レ	ミ	ファ	#ファ	ソ	ラ	シ	ド
頻度数	4	2	1	7	1	2	7	5	2	1
総音価	5.5	3	0.5	7.5	1	1.5	4.5	4	1	1
優先順	2	5	9	1	1	6	3	4	7	7

長音階

3. 4. 考察

26曲について、使用されている音階を分析した結果、ヨナ抜き音階と長音階の2つのグループに分かれることが明らかとなった。ここで、2つの音階の定義を改めて確認したい。まず、長音階は7音から成り、第3音と第4音、第7音と第8音の間が半音で、それ以外が全音という並びの音階を指す(譜例1)。西洋音楽の音階の一つであるが、明治期に唱歌教育を試みようとした際、音楽の根底となる理論を西洋から取り入れたことにより、この音階が日本でも知れ渡ることとなった⁷。

譜例1 長音階



一方、ヨナ抜き長音階は、第4音と第7音が省かれた5音から成る音階をいう(譜例2)。この音階は西洋音階と日本に古来から存在する5音音階との言わば和洋折衷されたものであり、明治以降の唱歌で多く用いられた音階である。ただし、この音階は明治期に突如として現れたわけではなく、

⁷ 千葉潤之介 2002 「日本」の項 『新編 音楽中辞典』 音楽之友社 pp. 479-483

奈良時代に中国から輸入された「呂旋法」と同じ構成音をもつ音階である⁸。

譜例 2 ヨナ抜き長音階



26曲中、長音階に基づくものは12曲、ヨナ抜き長音階14曲であり、つまり半数以上が5音音階の作品であった。そして、注目すべきは25曲全てが長調という点である。伊澤修二是『音楽取調成蹟申報要略』の中で、長調の曲は勇壮活発にし、短調の曲は柔弱憂鬱にするため、幼児期には勇壮活発な発育し、有徳健全な心身を育成するために、長調（長音階）を用いるべきだと述べている⁹。幼児が歌う曲であることから、短調のような暗い曲よりも明るい長調の曲の方が好まれることは自然なことに思うが、音楽によって心身を鍛錬するという明治期以降の考えに基づくものと考える。

既に述べたように、現在の日本には世界各国の多種多様な音楽があふれおり、若い世代にとってはヨナ抜き音階のような5音音階よりも、西洋音階の方が明らかに馴染みがある。しかし、幼児期に歌う曲に限ってみると、現在、私たちの生活に浸透している西洋音楽の流れよりも、ヨナ抜き音階といった世俗的、大衆的な音感が深く根付いていることがわかる。もちろん、童謡の成立過程において、多くの作品がヨナ抜き音階に基づいて作曲されたため、子どもの歌がヨナ抜き音階によることは必然的なことと言える。だが、どのような曲を歌うかはそれぞれの幼稚園、保育園に判断に委ねられており、その選択は自由である。西洋に倣った音楽教育が明治期から開始されたが、140年が経過した今、日本は西洋音楽の理論に基づいた音楽が流布し、日本の古くから存在する音楽は存在を薄くしている。しかしながら、子どもの歌に限っては、今も次々と新たな曲が作り出されているながらも、古く歌われている童謡を歌い継いでいく姿勢が見受けられる。

⁸ 小方厚 2007 『音律と音階の科学』 講談社 p. 43

⁹ 東京音楽学校(編) 1891 『音楽取調成蹟申報要略』 大日本図書 pp. 143-144

4. おわりに

本稿では、6月に幼稚園で歌われている子どもの歌の実態について、5、6月に実習を行った学生からのアンケート調査を基に分析を行った。その結果、本学で定めている年間課題曲と幼稚園で実際に歌われている曲はおよそ一致しており、年間課題曲は現場での実態を反映した内容であることが明らかとなった。ただし、一部では6月の定番曲とされる曲が年間課題曲に含まれていない例も存在したため、今後それらの曲も含めることを検討したい。また、実習中には実習時期に合った「季節の歌」だけではなく、年間課題曲で4月や5月の歌と定めている曲も歌うことがあり、実習生には幅広い童謡のレパートリーが求められていると言える。本学では1年次にピアノの基礎を、2年次に童謡の弾き歌いを学ぶが、2年次の6月に教育実習（本実習）を行うことを考慮すると、1年次から童謡のレパートリーを可能な限り増やしていく必要がある。

また、音階という視点から上記の調査によって精査された6月の歌の楽曲ジャンルを大別することを試みた。調査した26曲の半数以上がヨナ抜き音階であり、残りは長音階であった。現在、日本の流行曲の多くは西洋音楽の理論を根底としているが、幼稚園で歌われる「子どもの歌」はその流れとは相反して、日本人にとって古くから馴染みのある5音音階に基づく曲が多く歌われていることが明らかとなった。つまり、幼児期に歌う曲と児童期以降に好んで歌う（聴取する）曲は、音楽の根底となる理論が全く異なっていると言える。

今回の調査では6月に対象を絞ったが、今後は6月以外の時期についても同様の調査を行い、幼稚園現場で歌われている曲の実態を明らかにしたい。そして、教育実習に向けた準備として、学生により効果的な指導が行えるよう、その教授方法について検討したい。

【参考文献】

- 1)海老澤敏ほか(監修) 2002 『新編 中音楽辞典』 音楽之友社
- 2)小川宣子・妹尾美智子・麓洋介(編著) 2008 『保育者のためのピアノでうたえる歌曲集 子どものうた村 保育の木』 ドレミ楽譜出版社
- 3)小方厚 2007 『音律と音階の科学』 講談社

- 4)音楽取調掛(編) 1884 『小学唱歌 初編』 文部省
 国立国会図書館 近代デジタルライブラリー
<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/992051/20>
- 5)木暮朋佳 2009 「小学校歌唱共通教材の日本音階に関する一考察--柴田南雄の分析法を中心に用いて」 『美作大学・美作大学短期大学部紀要』 第 54 号 美作大学 pp. 47-53
- 6)小林美実(編) 1976 『こどものうた 200』 チャイルド本社
- 7)小林美実(監修)／井戸和秀(編) 1984 『いろいろな伴奏でひける こどものうた 100』 チャイルド本社
- 8)小林美実(編) 1996 『続 こどものうた 200』 チャイルド本社
- 9)高御堂愛子・植田光子・木許隆(監修・編著) 2009 『幼稚園教諭・保育士をめざす 楽しい音楽表現』 圭文社
- 10)東京音楽学校(編) 1891 『音楽取調成蹟申報要略』 大日本図書
 国立国会図書館 近代デジタルライブラリー
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/854781>
- 11)中村浩美・白石景一 2013 「保育者養成校における音楽指導法の研究－第 7 報－」 『長崎女子短期大学紀要』 第 37 号 長崎女子短期大学
- 12)板東貴余子(編) 2001 『簡易伴奏による こどもの歌ベストテン(改訂版)』 ドレミ楽譜出版社
- 13)松井みさ 2005 「創成期の童謡とその音階についての一考察」 『中国学園紀要』 第 4 号 中国学園大学 pp. 107-110
- 14)村田健治 2011 「幼児期から小学校への接続期におけるカリキュラムの具体」 『奈良県立教育研究所個人指定研究』 第 19 号 奈良県教育委員会
http://www.nps.ed.jp/nara-c/gakushikiyou/h23/26_kojin_youkyou.pdf
- 15)文部科学省 2008 『幼稚園教育要領』
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/you/you.pdf

付録 1 教育実習についてのアンケート

平成 26 年度 教育実習についてのアンケート

学籍番号 _____ 氏名 _____

1. 実習園はどこでしたか？

〔 幼稚園〕
(所在地 : 市・町・村)

2. 実習前のオリエンテーションで、園から実習中に歌う曲（童謡）の指定はありましたか？

はい（→問 3 へ）・いいえ（→問 4 へ）

3. 園から実習までに練習するように言わされた曲を教えて下さい。



4. 実習中はどのような曲を弾き（歌い）ましたか？

問 3 を答えた方は、園から指定された曲以外に、実習中に弾いた曲があれば、それを答えて下さい。

